

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	66	職員が生き活きと働けていない。入所者の骨折事故や看取り等が重なり精神的にも肉体的にも負担が大きかった。	看取り期でのケアマニュアルを見直し対応する職員の不安をなくします。 入居者の急変時、医療機関・訪問看護ステーションと連携をとり適切な初期対応をする。	看取りの入居者の状態をその時々ケアの統一化ができるようマニュアル化して行くことで不安を減らすようにします。 骨折が疑われるような時は専門医を受診し正しい対応がすぐ出来るようにします。	6ヶ月
2	54	ベッドと衣装棚が置かれただけの殺風景な居室がある。	その入居者らしい居室づくりをお手伝いし、居心地良く過ごす事ができる。	本人の好みの物を置いたり、使い慣れた馴染みのある家具などを家族に協力してもらい使って頂くことで安心して過ごす事の出来る居室を作る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。